

あり渠ハ山形出羽守義光りる息よりして
正年任駿河守 私曰任の方なく出羽よりやを
年駿河守と稱し之とて其や父
義光と去其長又年に関东合戦の刻
家康公の味方とて勇烈なる役
上校系勝と合戦し之を以て其子と
子より由り父の志を以て出羽守
形又十七万石を以て駿河守に世
其子より上源守邦義後又父祖の志を以て
万石を以て其子より飛騨守より
係り地没収され被保護なり本多

上源守永井右近左衛門 出羽奥平の大名
小波主人はお従ひ松平下野守忠御も 生薄
秀行の 家人本多忠兵衛 梅ヶ原 忠兵衛 小川
忠兵衛を大將とて其子余義光なる
其れ大將上源守人其後なく城をお渡り
其いの外頼政にてりりと云く庄内頼政曰
義光の嫡駿河守家親 実名其長元和記とお遠に
又源記を見れば駿河守ハ
二男と ありお従て忠督し其後病死に其子
源守邦又お兼りて七十万石を以て 其長元和
記と初
其遠元和八年源守邦忠兵衛九年源守邦